

## 教員候補者選考試験中学校理科の試験問題配布ミスについて

学校人事課

### 1 概要

平成28年度実施教員候補者選考試験の中学校理科の試験において、試験問題配布にミスがあり、計画通りの選考試験が実施されなかったことが判明した。

### 2 経緯

全受験者4200名のうち中学校理科を受験した79名に影響があった。

7月17日に行われた平成28年度実施教員候補者選考試験中学校理科の試験において、3教室のうち1教室で試験問題配布のミスが判明した。

本来は、前半に「共通理科」と「専門理科」、後半に「一般教養」と「教職教養」の問題を配布し実施する必要があった。しかし、当該教室では、前半に「共通理科」を配布せず試験が実施された。その後、後半に「一般教養」と「教職教養」に加え、「共通理科」の問題が配布され試験が実施された。そのため、他の2教室とは条件が異なり、公平・公正さを欠く状況となった。

配布ミスについては、すべての試験終了後中学校理科受験者の一部からの問い合わせと、当該試験監督が本部へもどる途中で同教科の他の試験監督に確認したことで間違いに気づき、選考試験本部への報告があり判明した。

### 3 今後の対応

(1) 中学校理科79名の受験者の試験結果を公平・公正に比較することができないため、次の対応とする。

ア 1次試験については、中学校理科受験者79名を全員合格とする。

イ 2次試験は予定通り実施することとし、論文、面接、模擬授業において適性等を見極められるよう工夫を行う。

(2) 再発防止に向けて次のような取り組みを行う。

ア 試験実施前に行っている本部説明会の全体会終了後、同一教科での部会を設定するなどチェック機能を強化する。

イ すべての教科の試験問題を分冊とせず、1冊にまとめたり、試験問題の入っている封筒に実施時間を明記するなどミスの要因を排除する。